



3月の洋洋句会

2014.3.30

第四十一回洋洋句会

- △ 亀鳴くや運慶仏のレントゲン 一幹
- △ 真つ白な十字架架エイプリルフル まどか
- △ 野蒜摘む罨薬庫へのヘルメット 美穂
- △ 捨て猫の眼まつすぐ竹の秋 沙羅羅
- △ 轉や陶の器のカブチーノ 洋平
- △ 春泥や校舎の塙のモザイク画 陽子
- △ をきなきのをきなきと進ふや花きふし 沙羅羅
- △ 教室の二階の灯りはつきくら 楓子
- △ 四度目の転院メール花馬酔木 すみえ
- △ 轉りや人魚にのこる鑿の痕 美好
- △ 春灯チエ口弾く鎖骨のうねりかな 寛子
- △ 幸せの近きにありぬ桜貝 藤樹
- △ せせらぎの通奏低音春愁ひ 喜久子
- △ 道ひとつ隔て下町しやほんだま 幸
- △ 轉のなんなん上手くなりてゆき 知子
- △ 花辛夷異なる意見の持つ男 朴太
- △ 桃の花ふつとほぐれしわなかまり 治
- △ 女子アナの青きブラウス初桜 尹志
- △ 竹の秋黒玉砂利の美術館 若葉

- 第二句会 兼題「木」 席題「西」
- 句兄弟の兄句 中で玉子むけはかがやく花墨 中村汀女
- 雨の日は雨の雲雀のあがるなり 安住敦
- △ 花冷えや養鶏場の灯の点り 治
 - △ 買い足しし二円切手や揚雲雀 美穂
 - △ 海上を離れし尾翼花墨 美好
 - △ 西口の改札口や春の猫 楓子
 - △ 白木蓮の産毛の萼のいのりかな 美穂
 - △ 木の椅子の軋み四月となりにつけり 泥頭



京都 原谷園
撮影:竹内洋平

写真をクリックすると拡大します